

バリアフリー化の取り組み

車両のバリアフリー化

当社では、車いすスペースを順次設置しており、平成22年3月31日現在330両となっています。

また、出入口上部に車内案内表示器を設置し、列車種別、行先、停車駅、次駅で開くドアの案内などを文字などで表示するとともに、非常時に乗務員と直接通話ができる非常通報器を600、700、800、3000、5000、7000、7200、8000(一部車両)、9000、10000系各車両に搭載しています。



車いすスペース



車内案内表示器



非常通報器



扉開閉予告装置

また、お年寄りや体の不自由な方、妊娠されている方などのための優先座席ゾーンの明確化を図っています。従来から窓ガラスに貼りつけていたステッカーに加え、座席の背もたれはオレンジをベースにピクトグラム*を印刷したものとし、カーテンは「優先座席」マークとピクトグラムを印刷したものに、また8000系特急車両や3000系車両では座席の枕カバーはオレンジ色をベースにピクトグラムを配したものにしています。

なお優先座席ゾーンでは、すべてのつり革に「電源OFF」シールを貼りつけ、携帯電話の使用禁止について注意喚起をしています。*情報や注意を示すための絵文字



優先座席



携帯電話OFFステッカー

駅のバリアフリー化

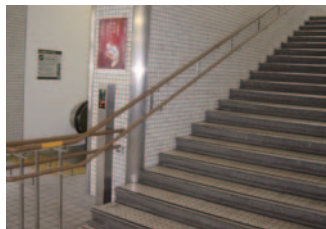
国および地方自治体と協力し、エレベーターや多目的トイレをはじめとしたバリアフリー化設備を順次整備しています。平成21年度は、エレベーターを清水五条駅ほか3駅に整備し、スロープを御殿山駅ほか1駅、多目的トイレを西三荘駅ほか3駅にそれぞれ整備しました。平成22年3月末現在、乗降者数5,000人以上である57駅のうち、43駅のバリアフリー化(段差解消)が完了しています。



エレベーター(清水五条駅)



スロープ(御殿山駅)



二段手すり(西三荘駅)



バリアフリー化対応型券売機
(券売機下に車いすのためのけりこみを設置)

サインのユニバーサルデザイン

ユニバーサルデザインの観点から、お客さまが円滑に駅をご利用いただけるよう、わかりやすい案内サインの設置を進めています。新しい案内サインはピクトグラムや英文字を併記するなど、平成14年発行の「公共交通機関旅客施設のサインシステムガイドブック(国土交通省監修)」などに準拠しています。



駅の案内サイン

TOPICS

全駅・全ホームへの 「ホーム点字ブロック内方線」 の整備が完了

「ホーム点字ブロック(ホーム縁端警告ブロック)内方線」を当社全88駅・全ホーム208カ所(京都市交通局管理の御陵駅除く)に設置する工事が平成22年3月24日(水)をもって完了しました。

ホーム点字ブロック内方線は、視覚に障がいをお持ちの方が、駅のプラットフォームをご利用になる際、点字ブロックよりホーム中心側にいらっしゃるか線路側にいらっしゃるかをお知らせするためのもので、ホーム下への転落事故の防止に効果があります。

ホーム点字ブロック内方線の法的な敷設基準は、駅の新設時や大規模改良時のみ設置義務があり、既設ホームはその対象外となっていますが、当社では、より安心・安全な駅を目指し、全駅・全ホームへ設置することにしました。



ホーム点字ブロック内方線